



平成 19 年 10 月 12 日

各 位

会社名 加藤産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤和弥
(コード番号 9869 東証・大証各一部)
問合せ先 取締役社長室長 中村 順
TEL : 0798-33-7665

(訂正)「平成 19 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (連結)」等の一部訂正に関するお知らせ

「平成 19 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (連結)」等の一部に誤りがありましたので、
下記のとおりお知らせいたします。

なお、平成 19 年 9 月期決算に係る半期報告書の訂正報告書については、本日付で関東財務局に
提出しております。

記

1. 訂正する四半期財務・業績の概況 (連結) 等

(公表日)

平成 19 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (連結)	平成 19 年 2 月 6 日公表
平成 19 年 9 月期 中間決算短信	平成 19 年 5 月 17 日公表
平成 19 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況	平成 19 年 8 月 6 日公表

2. 訂正箇所

訂正箇所は__を付して表示しております。

平成 19 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

2 ページ

「2. 平成 19 年 9 月期第 1 四半期業績の概況」

(2) 財政状態（連結）の変動状況

【連結キャッシュ・フローの状況】

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 9 月期第 1 四半期	3,488	△ 2,823	△ 498	28,425
18 年 9 月期第 1 四半期	1,907	△ 668	△ 472	24,569
(参考)18 年 9 月期	8,741	△ 3,586	△ 699	28,258

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期末の総資産は、前年同期と比べ 112 億 81 百万円増加し、2,212 億 64 百万円となりました。

流動資産においては、売上債権が 43 億 22 百万円、たな卸資産が 11 億 1 百万円増加しました。流動負債においては、仕入債務が 73 億 98 百万円増加しました。

固定資産、固定負債につきましては大きな変動はありません。

純資産は、650 億 89 百万円となりました。その結果、自己資本比率は、29.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において 34 億 88 百万円 の収入となりました。その主な要因は税金等調整前四半期純利益 17 億 23 百万円、減価償却費 6 億 58 百万円による資金の増加、法人税等の支払額 11 億 9 百万円 による資金の減少であります。

投資活動においては 28 億 23 百万円 の支出となりました。その主な要因は有形固定資産の取得 14 億 60 百万円 であります。

財務活動においては 4 億 98 百万円の支出となりました。その主な要因は配当金の支払であります。

以上の結果、当第 1 四半期末における現金及び現金同等物は、平成 18 年度末と比べ 1 億 66 百万円増加し、284 億 25 百万円となりました。

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年9月期第1四半期	738	△ 650	△ 498	28,425
18年9月期第1四半期	1,907	△ 668	△ 472	24,569
(参考)18年9月期	8,741	△ 3,586	△ 699	28,258

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は、前年同期と比べ112億81百万円増加し、2,212億64百万円となりました。

流動資産においては、売上債権が43億22百万円、たな卸資産が11億1百万円増加しました。流動負債においては、仕入債務が73億98百万円増加しました。

固定資産、固定負債につきましては大きな変動はありません。

純資産は、650億89百万円となりました。その結果、自己資本比率は、29.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において7億38百万円の収入となりました。その主な要因は税金等調整前四半期純利益17億23百万円、減価償却費6億58百万円による資金の増加、法人税等の支払額10億32百万円による資金の減少であります。

投資活動においては6億50百万円の支出となりました。その主な要因は無形固定資産の取得6億45百万円であります。

財務活動においては4億98百万円の支出となりました。その主な要因は配当金の支払であります。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、平成18年度末と比べ1億66百万円増加し、284億25百万円となりました。

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	(訂正前)	(訂正後)
	当第1四半期 自平成18年10月1日 至平成18年12月31日	当第1四半期 自平成18年10月1日 至平成18年12月31日
	金 額	金 額
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,723	1,723
減価償却費	658	658
投資有価証券評価損	24	24
貸倒引当金の増加額(△減少額)	8	△ 9
退職給付引当金の増加額(△減少額)	516	15
役員退職慰労引当金の増加額(△減少額)	△ 21	△ 21
賞与引当金の増加額(△減少額)	△ 434	△ 525
受取利息及び受取配当金	△ 106	△ 106
支払利息	8	8
持分法による投資損益	△ 38	△ 38
投資有価証券売却損益	△ 1	△ 1
売上債権の減少額(△増加額)	△ 16,224	△ 9,992
たな卸資産の減少額(△増加額)	△ 5,107	△ 4,251
仕入債務の増加額(△減少額)	21,693	13,623
その他の	1,831	567
小計	4,531	1,674
利息及び配当金の受取額	129	129
利息の支払額	△ 62	△ 33
法人税等の支払額	△ 1,109	△ 1,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,488	738
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 1,460	△ 450
有形固定資産の売却による収入	194	194
無形固定資産の取得による支出	△ 660	△ 645
投資有価証券の取得による支出	△ 1,193	△ 50
投資有価証券の売却による収入	307	307
貸付けによる支出	△ 106	△ 101
貸付金の回収による収入	75	75
その他の	19	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,823	△ 650
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加額(△純減少額)	121	121
長期借入による収入	—	—
長期借入金の返済による支出	△ 105	△ 105
配当金の支払額	△ 513	△ 513
その他の	△ 1	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 498	△ 498
4. 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	166	△ 411
5. 現金及び現金同等物の期首残高	28,258	28,258
6. 合併による現金及び現金同等物の増加高	—	578
7. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	28,425	28,425

平成 19 年 9 月期 中間決算短信

1 ページ

「1. 平成 19 年 3 月中間期の連結業績」

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 3 月中間期	<u>△ 2,850</u>	<u>△ 3,526</u>	△ 753	21,128
18 年 3 月中間期	△ 3,633	△ 1,780	△ 313	18,076
18 年 9 月期	8,741	△ 3,586	△ 699	28,258

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 3 月中間期	<u>△ 5,600</u>	<u>△ 1,354</u>	△ 753	21,128
18 年 3 月中間期	△ 3,633	△ 1,780	△ 313	18,076
18 年 9 月期	8,741	△ 3,586	△ 699	28,258

4 ページ

1. 経営成績

(2) 財政状態に関する分析

(訂正前)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ71億30百万円減少し、211億28百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローについては、前中間連結会計期間と比べ支出が7億83百万円減少し、28億50百万円の資金の減少となりました。当中間連結会計期間においては、税金等調整前中間純利益24億80百万円、減価償却費13億21百万円などの資金の増加、仕入債務の減少56億31百万円、法人税等の支払額11億41百万円などの資金の減少がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、前中間連結会計期間と比べ17億46百万円増加し、35億26百万円の資金の減少となりました。これは主に投資有価証券の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前中間連結会計期間と比べ4億40百万円増加し、7億53百万円の資金の減少となりました。

(訂正後)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ71億30百万円減少し、211億28百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローについては、前中間連結会計期間と比べ支出が19億66百万円増加し、56億円の資金の減少となりました。当中間連結会計期間においては、税金等調整前中間純利益24億80百万円、減価償却費13億21百万円などの資金の増加、仕入債務の減少137億1百万円、法人税等の支払額10億64百万円などの資金の減少がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、前中間連結会計期間と比べ4億25百万円減少し、13億54百万円の資金の減少となりました。これは主に投資有価証券の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前中間連結会計期間と比べ4億40百万円増加し、7億53百万円の資金の減少となりました。

4. 中間連結財務諸表等

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	(訂正前)	(訂正後)
	当中間連結会計期間 自平成18年10月1日 至平成19年3月31日	当中間連結会計期間 自平成18年10月1日 至平成19年3月31日
	金 額	金 額
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,480	2,480
減価償却費	1,321	1,321
投資有価証券評価損	14	14
貸倒引当金の増加額(△減少額)	<u>△ 55</u>	<u>△ 74</u>
退職給付引当金の増加額(△減少額)	<u>528</u>	<u>27</u>
役員退職慰労引当金の増加額(△減少額)	△ 13	△ 13
賞与引当金の増加額(△減少額)	<u>6</u>	<u>△ 83</u>
役員賞与引当金の増加額(△減少額)	△ 20	△ 20
受取利息及び受取配当金	△ 162	△ 162
支払利息	21	21
持分法による投資損益	△ 157	△ 157
投資有価証券売却損益	△ 61	△ 61
売上債権の減少額(△増加額)	<u>△ 964</u>	<u>5,267</u>
たな卸資産の減少額(△増加額)	<u>△ 170</u>	<u>685</u>
仕入債務の増加額(△減少額)	<u>△ 5,631</u>	<u>△ 13,701</u>
その他の	<u>1,034</u>	<u>△ 229</u>
小計	<u>△ 1,829</u>	<u>△ 4,686</u>
利息及び配当金の受取額	175	175
利息の支払額	<u>△ 54</u>	<u>△ 25</u>
法人税等の支払額	<u>△ 1,141</u>	<u>△ 1,064</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 2,850</u>	<u>△ 5,600</u>
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	<u>△ 1,963</u>	<u>△ 954</u>
有形固定資産の売却による収入	200	200
無形固定資産の取得による支出	<u>△ 1,091</u>	<u>△ 1,076</u>
投資有価証券の取得による支出	<u>△ 2,302</u>	<u>△ 1,159</u>
投資有価証券の売却による収入	1,659	1,659
貸付けによる支出	<u>△ 227</u>	<u>△ 223</u>
貸付金の回収による収入	160	160
その他の	39	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 3,526</u>	<u>△ 1,354</u>
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加額(△純減少額)	△ 219	△ 219
長期借入による収入	200	200
長期借入金の返済による支出	△ 218	△ 218
配当金の支払額	△ 513	△ 513
その他の	△ 1	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 753	△ 753
4. 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	<u>△ 7,130</u>	<u>△ 7,708</u>
5. 現金及び現金同等物の期首残高	28,258	28,258
6. 合併による現金及び現金同等物の増加高	—	578
7. 現金及び現金同等物の中間期末残高	21,128	21,128

平成19年9月期 第3四半期財務・業績の概況

1 ページ

「1. 平成19年9月期第3四半期の連結業績」

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年9月期第3四半期	<u>4,600</u>	<u>△ 4,451</u>	△ 1,486	<u>26,920</u>
18年9月期第3四半期	3,865	△ 3,793	△ 696	23,179
18年9月期	8,741	△ 3,586	△ 699	28,258

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年9月期第3四半期	<u>1,814</u>	<u>△ 2,279</u>	△ 1,486	<u>26,884</u>
18年9月期第3四半期	3,865	△ 3,793	△ 696	23,179
18年9月期	8,741	△ 3,586	△ 699	28,258

2 ページ

【定性的情報・財務諸表等】

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(訂正前)

当第3四半期末の総資産は、前年同期と比べ237億52百万円増加し、2,050億93百万円となりました。

流動資産においては、売上債権が145億84百万円、現金及び預金が36億97百万円増加し、流動負債においては、仕入債務が181億95百万円増加しました。

固定資産、固定負債につきましては大きな変動はありません。

純資産は、656億18百万円となりました。その結果、自己資本比率は31.6%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において46億円の収入となりました。その主な要因は税金等調整前四半期純利益35億52百万円、減価償却費20億30百万円による資金の増加および法人税等の支払額21億68百万円等による資金の減少であります。

投資活動においては44億51百万円の支出となりました。その主な要因は投資有価証券の取得25億49百万円、有形固定資産の取得23億12百万円であります。

財務活動においては14億86百万円の支出となりました。その主な要因は配当金の支払であります。

以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、平成18年度末と比べ13億37百万円減少し、269億20百万円となりました。

(訂正後)

当第3四半期末の総資産は、前年同期と比べ237億52百万円増加し、2,050億93百万円となりました。

流動資産においては、売上債権が145億84百万円、現金及び預金が36億97百万円増加し、流動負債においては、仕入債務が181億95百万円増加しました。

固定資産、固定負債につきましては大きな変動はありません。

純資産は、656億18百万円となりました。その結果、自己資本比率は31.6%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において18億14百万円の収入となりました。その主な要因は税金等調整前四半期純利益35億52百万円、減価償却費20億30百万円による資金の増加および法人税等の支払額20億91百万円等による資金の減少であります。

投資活動においては22億79百万円の支出となりました。その主な要因は無形固定資産の取得14億97百万円、投資有価証券の取得14億6百万円、であります。

財務活動においては14億86百万円の支出となりました。その主な要因は配当金の支払であります。

以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、平成18年度末と比べ19億52百万円減少し、268億84百万円となりました。

6 ページ

5. (要約) 四半期連結財務諸表等

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	(訂正前)	(訂正後)
	当 四 半 期 (平成 19 年 9 月期 第 3 四 半 期)	当 四 半 期 (平成 19 年 9 月期 第 3 四 半 期)
	金 額	金 額
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,552	3,552
減価償却費	2,030	2,030
投資有価証券評価損	17	17
貸倒引当金の増加額(△減少額)	<u>△ 20</u>	<u>△ 39</u>
退職給付引当金の増加額(△減少額)	<u>554</u>	<u>52</u>
役員退職慰労引当金の増加額(△減少額)	<u>△ 4</u>	<u>△ 4</u>
賞与引当金の増加額(△減少額)	<u>△ 352</u>	<u>△ 442</u>
役員賞与引当金の増加額(△減少額)	<u>△ 8</u>	<u>△ 8</u>
受取利息及び受取配当金	<u>△ 372</u>	<u>△ 372</u>
支払利息	27	27
持分法による投資損益	<u>△ 125</u>	<u>△ 125</u>
投資有価証券売却損益	<u>△ 66</u>	<u>△ 66</u>
売上債権の減少額(△増加額)	<u>△ 7,602</u>	<u>△ 1,370</u>
たな卸資産の減少額(△増加額)	<u>398</u>	<u>1,254</u>
仕入債務の増加額(△減少額)	<u>6,643</u>	<u>△ 1,425</u>
その他の	<u>1,762</u>	<u>462</u>
小 計	<u>6,435</u>	<u>3,542</u>
利息及び配当金の受取額	399	399
利息の支払額	<u>△ 64</u>	<u>△ 35</u>
法人税等の支払額	<u>△ 2,168</u>	<u>△ 2,091</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>4,600</u>	<u>1,814</u>
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	<u>△ 2,312</u>	<u>△ 1,302</u>
有形固定資産の売却による収入	201	201
無形固定資産の取得による支出	<u>△ 1,511</u>	<u>△ 1,497</u>
投資有価証券の取得による支出	<u>△ 2,549</u>	<u>△ 1,406</u>
投資有価証券の売却による収入	1,691	1,691
貸付けによる支出	<u>△ 227</u>	<u>△ 223</u>
貸付金の回収による収入	196	196
その他の	59	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 4,451</u>	<u>△ 2,279</u>
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加額(△純減少額)	<u>△ 381</u>	<u>△ 381</u>
長期借入による収入	275	275
長期借入金の返済による支出	<u>△ 407</u>	<u>△ 407</u>
配当金の支払額	<u>△ 970</u>	<u>△ 970</u>
その他の	<u>△ 2</u>	<u>△ 2</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 1,486</u>	<u>△ 1,486</u>
4. 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	<u>△ 1,337</u>	<u>△ 1,952</u>
5. 現金及び現金同等物の期首残高	28,258	28,258
6. 合併による現金及び現金同等物の増加高	—	<u>578</u>
7. 現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>26,920</u>	<u>26,884</u>

以上